

○ 大山・蒜山

平成 27 年 1 月 10 日（土）～12 日（月） 曇り後雪 岡本、嶋原、右田(記録)

10 日(土)13 時 30 分過ぎに嶋原車で大阪を出発。中国道を順調に走り、夕方、大山寺駐車場に到着。駐車場は既に満車に近い状態だったが、一番奥に何とか駐車できた。車の横を雪ならしし、テントを設営。早速、ビールで乾杯。その後、鍋を囲み宴会し、ほどほどで就寝。夜中も車が入って来て、ライトで照らされ、結構、起こされた。

11 日(日) 曇り後雪。昨夜の鍋にうどんを掘り込み、朝食とする。明るくなってきたのでテントを撤収し、7 時 50 分頃駐車場を出発。夏道ルートに行く。雪が多いが連日の登山者のトレースで踏み固められている。樹氷を眺めながら高度を稼ぎ、先行するパーティを追い抜いていく。9 時 20 分に 6 合目小屋に到着。多くの登山者が休憩している。ここからは急斜面の登りとなる。このあたりから急に風が強くなってきた。雪煙が顔を叩いて痛い。急斜面を登りきると緩斜面となるが、風で先行者のトレースが消え、コースがわかりづらい。標識の棒を頼りに登って行く。やがて雪に埋もれた小屋が見え、少し登れば弥山の頂上に到着。10 時 10 分。しかし、視界 0。頂上を示す看板も着雪で確認できない。岡本さんがピッケルで除雪するも識別ができないのであらかじめ証拠写真を撮影。寒いので、早々に小屋に逃げ込む。最初は真っ暗だったが、目が慣れてきたら結構明るい。テルモスのコーヒーで簡単な昼食を済ませ、下山。外に出た途端、向かい風でまともに顔に風雪があたり、非常に辛いので、ペースアップしてとりあえず、6 合目小屋まで下る。ここから行者谷へ直接下る。快適に下り、あっという間に行者谷に降り立つ。さらに谷沿いに下降し、夏道に合流する。ここから沢沿いのルートと林道があるが、歩きやすい林道コースを取る。ほどなく大山寺に到着。モンベルの前を過ぎ、12 時 50 分に駐車場に到着した途端、激しい雪となる。装備の片付けもそこそこに車に乗り込み、蒜山に向け出発する。蒜山の道の駅に到着するころには雪も止み、晴れ間も見えだした。まだ、明るいので車の中でビールやワインを飲みながら待機。テントサイズにぴったりのもう使われていない自動販売機の小屋を見つけ、中にテントを設営。快適な宿ができあがった。これが正解で一晩降り続いた雪でもまったく影響がなかった。その後、すき焼きで 0 時前まで宴会。きっと明日の登山はあきらめていたんでしょね。





12日(月)雪。朝起きて昨日からの雪が降り続いており、一晩で30cm新たに積雪。トイレに行くのも一苦勞。車が出せるか心配であったが車体がつかえていないので何とかかなりそう。この状態では、除雪されていない道を登山口まで車で入るのは無理そうだし、視界もきかないので、残念だが蒜山登山は持ち越しに。正月に続く二日目の敗退で、岡本さんは非常に残念そう。こうなったら早く帰ろうということで早々に撤収し、帰路に。中国道も空いておりスムーズに走り12時頃帰宅。大山に登れたのでまあ満足でした。往復とも運転していただいた鳴原さんに感謝です。